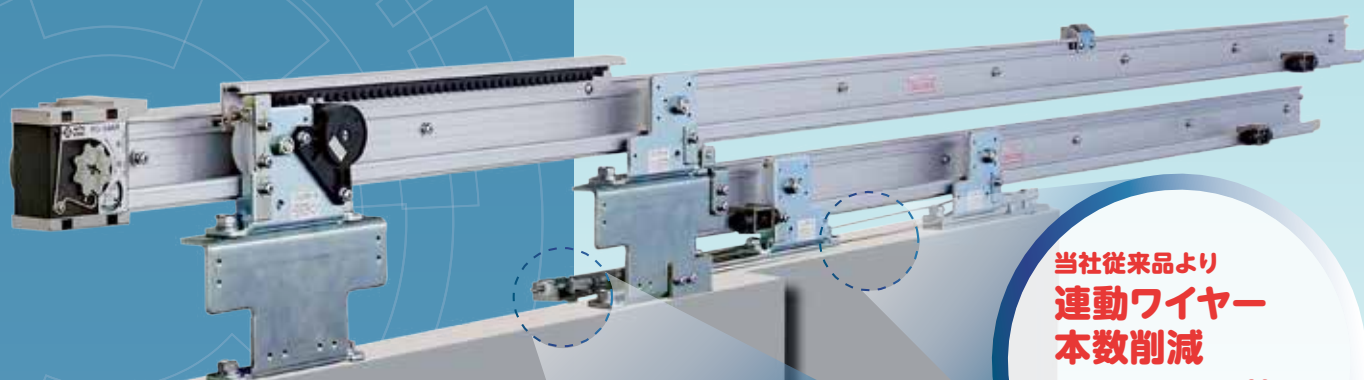


スライディングクローザ Cシリーズ用 オプション 片引き2連連動装置 SC-2SA

標準セット品との組み合わせにより
2枚の扉を連動させて開閉できます



当社従来品より
**連動ワイヤー
本数削減**
扉吊り込み前に
ワイヤー施工可

**ワイヤー張力
調整機構採用**



当社従来品 SC-2Sより

施工時間

約 **20%**
DOWN

戸袋スペースがあまり取れない場合でも、
有効開口を広くとることができます。



医療福祉設備などで採用されています。

目次

概要	p.2
機種仕様一覧表	p.3
主要寸法計算式	p.3
納まり図	p.4
・DSC-CW03	p.4
・DSC-CW08	p.5
・NSC-CW23	p.6
・NSC-CW48/NSC-CW88	p.7
・DSC-C03/DSC-08	p.8
・NSC-C48/NSC-C88	p.9
部品外形図	p.10
取り付け手順	p.12

スライディングクローザ Cシリーズ用オプション 片引き2連連動装置 SC-2SA

施工性が向上しました

- ・当社従来品より連動ワイヤー本数削減 (2本→1本)
- ・扉吊り込み前にワイヤー施工可
- ・ワイヤー張力調整機構採用

適用扉質量160kgまで対応可能 (2枚合計)

Point!

適用有効開口 **大**

取り付け省スペース

適用ドア重量 **大**

||

様々な現場に対応可能!

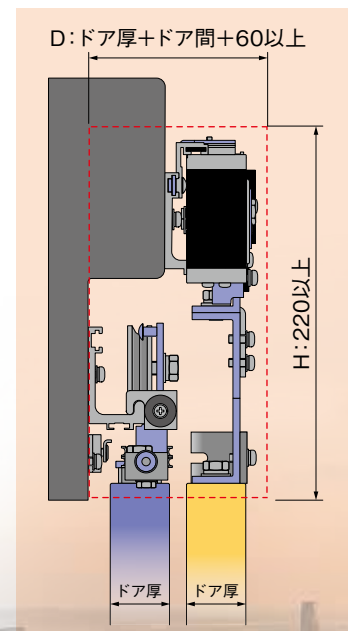
仕様表 (ベース機種: NSC-C48/NSC-C88)

適用有効開口	(mm)	800~1500(2000※1)	
適用ドア重量[2枚合計]	(kg)	80(160※2)	
適用ドア厚	(mm)	30~45	
最小枠内寸法 (mm)	(mm)	H	D
		220	100※3

※1: 特注にて2000mmまで対応可能です。

※2: ベース機種のクローザ標準セット品を2セット使用することにより、160Kgまで対応可能です。

※3: ドア厚30mm、ドア間10mmの場合。



オプション 片引き2連連動装置 SC-2SA型

扉質量
2枚合計 80kg以下/160kg以下

特長

- 標準セット品との組合せにより2枚の扉を連動させて開閉できます。
- 戸袋スペースがあまり取れない場合でも、有効開口を広く取ることができます。
- 左右勝手兼用です。

機種仕様一覧表

ベース機種		片引き2連連動装置 セット型式	適用扉質量 (2枚合計)	適用有効開口
シリーズ名	機 種			
Cシリーズ	DSC-CW03	SC-2SA-G16-W	30kg以下	800~1500 (2000※2) mm
	DSC-CW08	SC-2SA-G16-WP	80kg以下	
	NSC-CW23	SC-2SA-G16-W	30kg以下	
	NSC-CW48/NSC-CW88	SC-2SA-G16-WP	80kg以下	
	DSC-C03	SC-2SA-GXX-ST※1	30kg以下	
	DSC-C08		80kg以下	
	NSC-C48/NSC-C88			
	NSC-C48/NSC-C88 (2set)	SC-2SA-GXX※1	160kg以下	

※1. 片引き2連連動装置セット型式のGXXはガイドローラ径を示します。(φ16、φ25、φ30、φ35から選定)
表示例: SC-2SA-G25-ST (ガイドローラ径φ25の場合)

※2. 特注にて2000mmまで対応可能です。

- ・壁収納タイプはご相談ください。
- ・片引き2連引き戸システムとしては下記の部品が必要となります。

◆扉質量 80kg以下の場合

システム構成必要部品	数 量	備 考
①標準セット (ベース機種)	1SET	
②片引き2連連動装置セット	1SET	連動金具、ハンガー (連動扉用)、戸当り (連動扉用)、木製ドア用板 (WPのみ)
③レール (連動扉用)	1SET	
④ガイドレール (連動扉用)	1SET	ベース機種CWの場合のみ

《発注例》

①NSC-CW88-31…………… 1SET ③レール L=2200…………… 1SET
②SC-2SA-G16-WP…………… 1SET ④ガイドレール L=1300…………… 1SET

◆扉質量 80kgを超え160kg以下の場合

システム構成必要部品	数 量	備 考
①標準セット (ベース機種)	1SET	主動扉用
②標準セット (ベース機種)	1SET	連動扉用
③連動金具	1SET	
④戸当り	1SET	連動扉戸先用

《発注例》

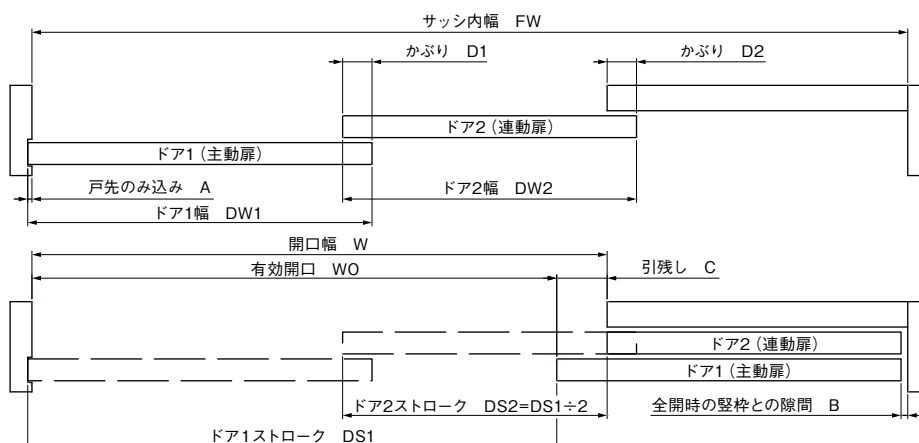
①NSC-C88-31 (主動扉用) …… 1SET ③SC-2SA-G30 …… 1SET
②NSC-C88-22 (連動扉用) …… 1SET ④戸当り …… 1SET



主要寸法計算式

項 目	記 号	計 算 式	
		有効開口基準	サッシ内幅基準
有効開口 800~1500(2000※)	WO	指定してください	$\frac{FW - (A/2) - B - C - D1}{1.5}$
サッシ内幅 (3250以下)	FW	$(1.5 \times WO) + \frac{A}{2} + B + C + D1$	指定してください
戸先のみ込み寸法	A	指定してください	指定してください
全開時の壁枠との隙間 (10以上)	B	指定してください	指定してください
引残し	C	指定してください	指定してください
ドア1 (主動扉) とドア2 (連動扉) のかぶり (55以上)	D1	指定してください	指定してください
ドア2 (連動扉) と戸袋とのかぶり (55以上)	D2	D2=D1	D2=D1
ドア1 (主動扉) 幅 (550以上※1)	DW1	$\frac{WO+A}{2} + C + D1$	$\frac{WO+A}{2} + C + D1$
ドア2 (連動扉) 幅 (500以上※2)	DW2	DW1-C	DW1-C
開口幅	W	WO+C	WO+C
レール1 (主動扉用) 長さ	L1	FW-150	FW-150
レール2 (連動扉用) 長さ	L2	FW-DW1+D1+A-140	FW-DW1+D1+A-140

※特注にて2000mmまで対応可能です。



※1. ドア1幅(DW1)が550以下の場合には戸尻側のハンガー取付位置を120→80に変更してください。

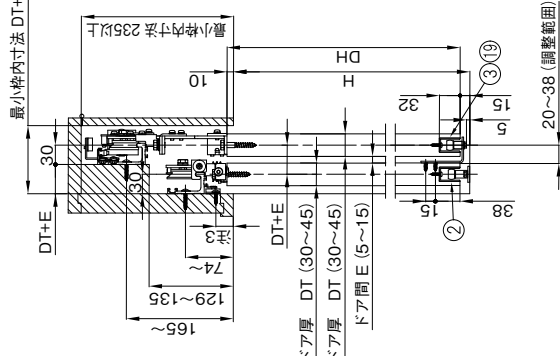
※2. ドア2幅(DW2)が500以下の場合には戸尻側のハンガー取付位置を120→80に変更してください。

※本片引き2連連動装置はドア1ストローク (DS1) に対し、ドア2ストローク (DS2) が 1/2になります。

必ず DS2=DS1÷2 となるように設定してください。

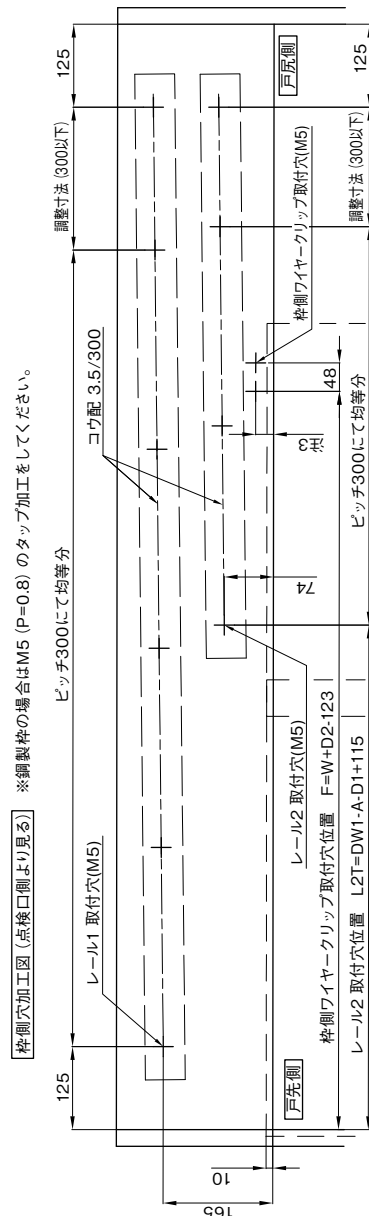
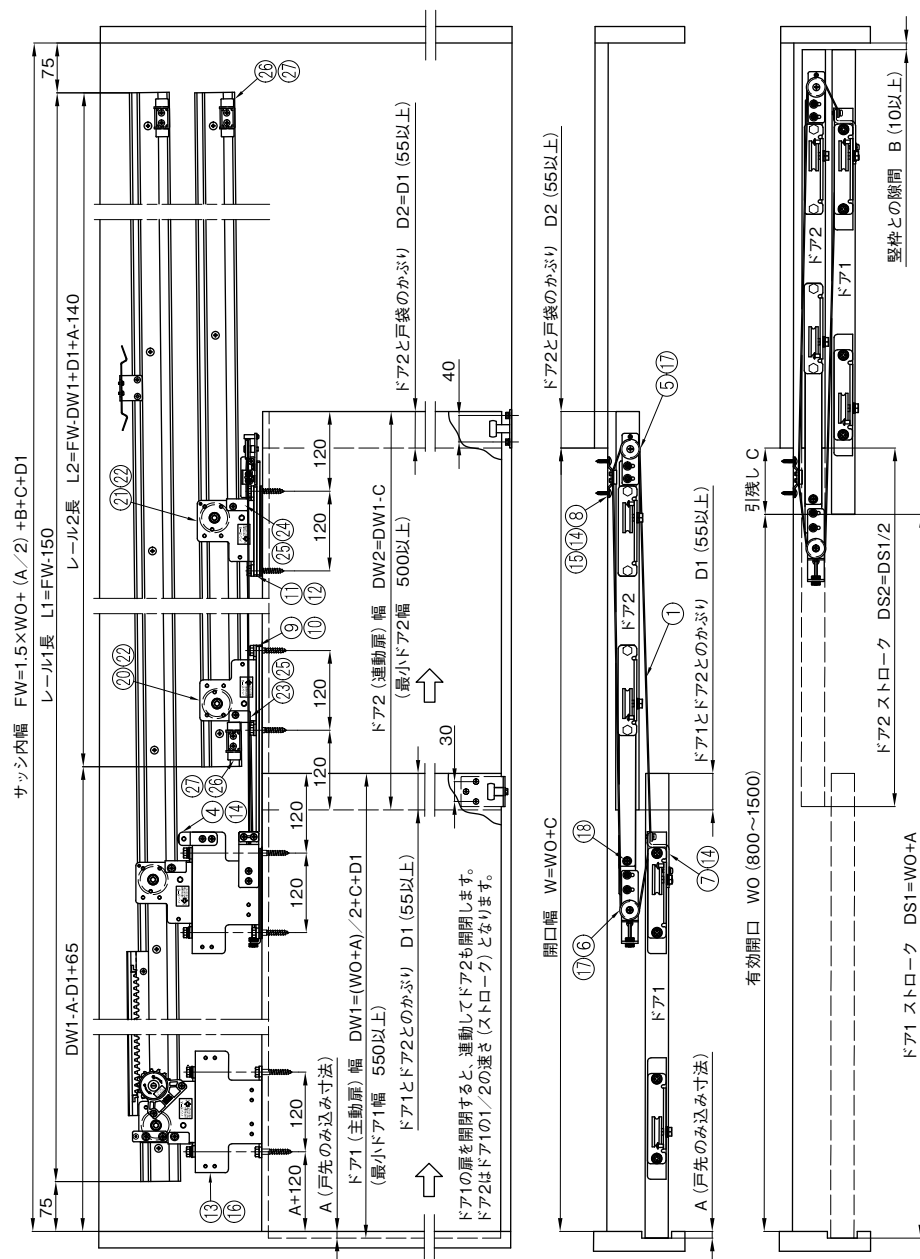
片引き2連引き戸納まり図

最小柁内寸法 DT+E+60以上



本図は右開きを示します。
 左開きは本図に対し、左右対称となります。
 扉の開き勝手は下記となります。

- 点検口側より見て
 右側へ開く…左開き
 左側へ開く…右開き
- 格柵ワイヤークリップ取付位置は以下の計算式にて寸法を算出してください。
 $23 \times 3.5 / 300 \times (DW2-219)$

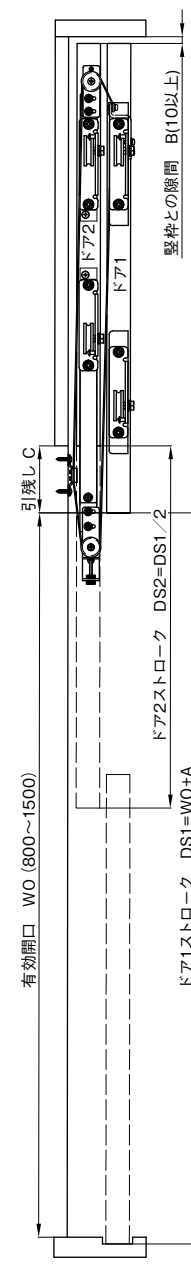
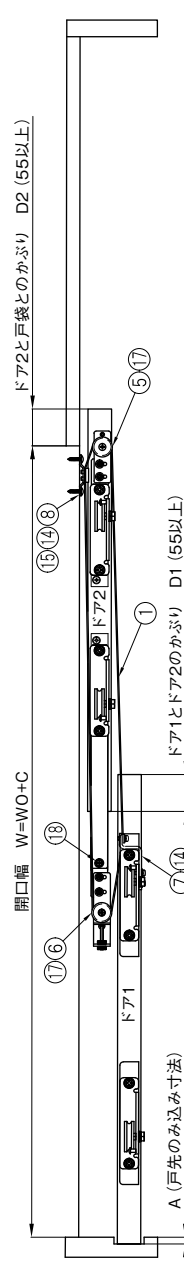
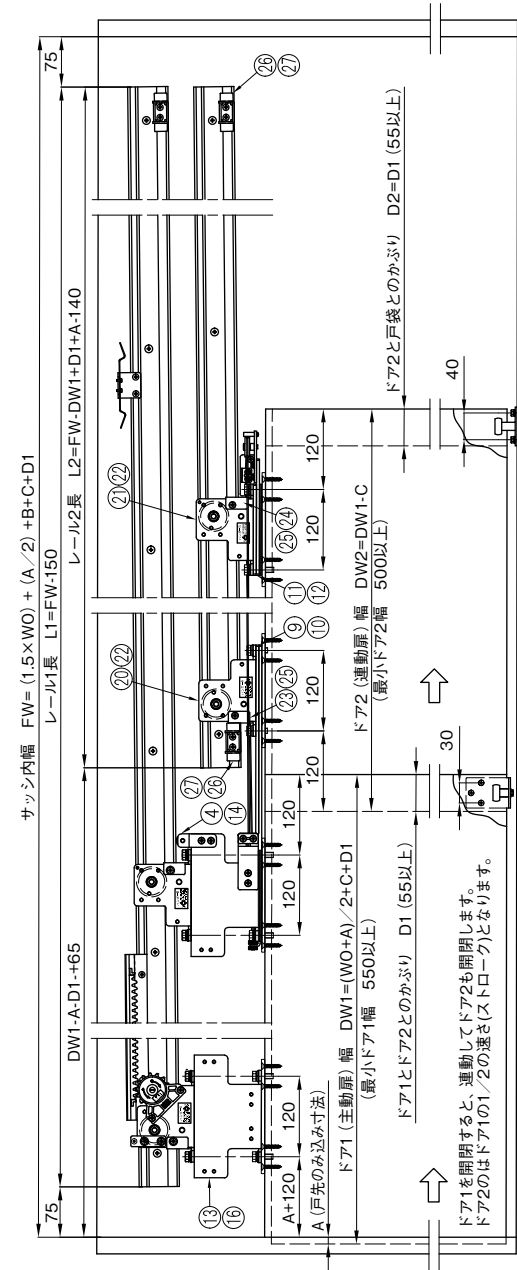


項番	部品名称	数量	備考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ D16	1	
③	ガイドローラ D16 AJ	1	
④	跳ね上がり防止金具	1	
⑤	ブリー金具	1	
⑥	ブリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	枠側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナー-A	1	
⑩	ライナー-B	1	
⑪	ライナー-C	1	
⑫	ライナー-D	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべ小ネジ	6	跳ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 枠側ワイヤークリップ取付用(鋼製枠)
⑮	4.5×20 トラストピンネジ	2	枠側ワイヤークリップ取付用(木製枠)
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブリー金具取付用 ブリー金具AJ取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ライナー-A×ライナー-B固定用
⑲	M5×12 皿サッシ小ネジ	3	ガイドローラAJ取付用
⑳	5×16 皿サッシ小ネジ	3	
㉑	ハンガー-A	1	
㉒	ハンガー-B	1	ドア2 (運動扉) 用
㉓	8×50 コーチスクリュー	4	
㉔	戸外れ防止金具A	1	
㉕	戸外れ防止金具B	1	ドア2 (運動扉) 用
㉖	M5×8 なべ小ネジ	2	
㉗	戸当り金具	2	
㉘	5×16 皿ベッパッド小ネジ	4	ドア2 (運動扉) 用

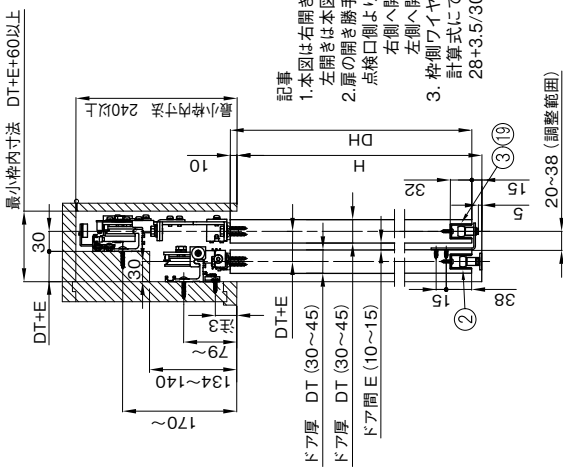
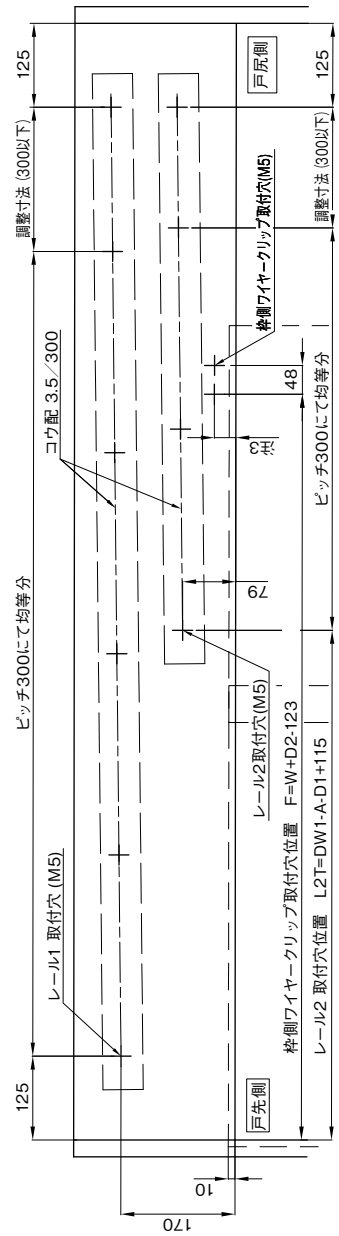
ベース機種:傾斜式 DSC-CW08

片引き2連引き戸納まり図

※CADデータはホームページからダウンロードできます。



枠側加工図 (点検口側より見る) ※鋼製枠の場合はM5 (P=0.8) のタップ加工をしてください。

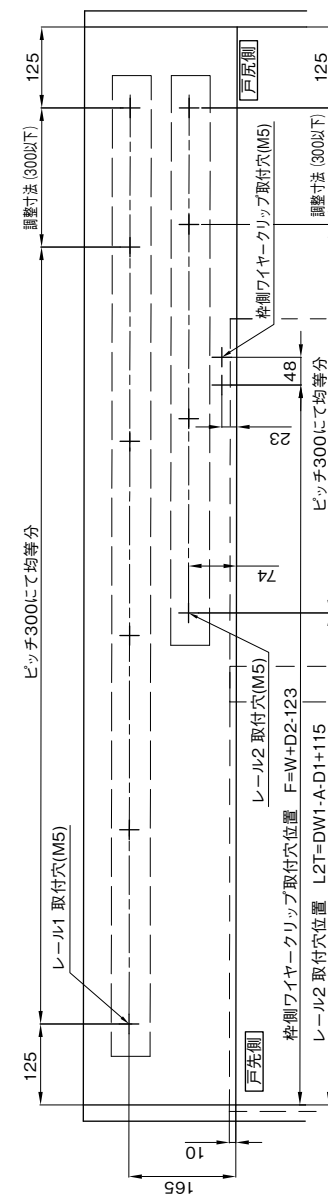
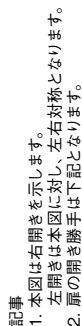


記事
 1.本図は右開きを示します。
 左開きは本図に対し、左右対称となります。
 2.扉の開き勝手は下記となります。
 点検口側より見て
 右側へ開く…右開き
 左側へ開く…左開き
 3. 枠側ワイヤークリップ取付位置は以下の
 計算式にて寸法を算出して下さい。
 $28 + 3.5/300 \times (DW2 - 219)$

項番	部品名称	数量	備 考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ D16	1	
③	ガイドローラ D16 AJ	1	
④	跳ね上がり防止金具	1	
⑤	ブーリー金具	1	
⑥	ブーリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	枠側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナー-A	1	
⑩	ライナー-B	1	
⑪	ライナー-C	1	
⑫	ライナー-D	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべ小ネジ	6	跳ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用(鋼製枠)
⑮	4.5×20 トラスタッピンネジ	2	枠側ワイヤークリップ取付用(木製枠)
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブーリー金具取付用 ブーリー金具AJ取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ライナー-A×ライナー-B固定用
⑲	M5×12 皿サッシネジ	3	ガイドローラAJ取付用
⑳	5×16 皿タッピンネジ	3	
㉑	ハンガー-A	1	
㉒	ハンガー-B	1	
㉓	8×50 コーンスクリュー	4	
㉔	戸外れ防止金具A	1	
㉕	戸外れ防止金具B	1	
㉖	M5×8 なべ小ネジ	2	
㉗	戸当り金具	2	
㉘	5×16 なべタッピンネジ	4	
㉙	木製ドア用板	2	
㉚	5×30 皿タッピンネジ	8	

片引き2連引き戸納まり図

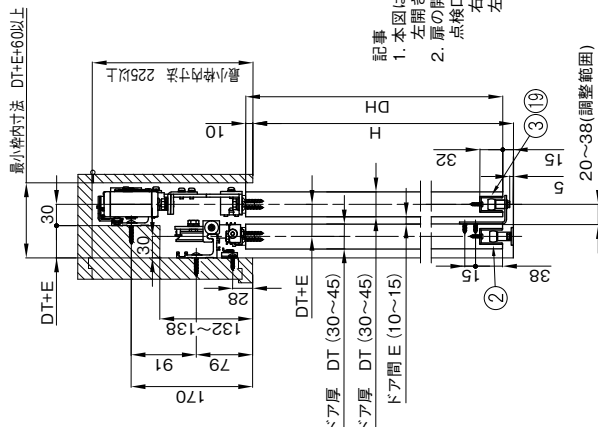
最小枠内寸法 DT+E+60以上



項番	部品名称	数量	備考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ D16	1	
③	ガイドローラ D16 AJ	1	
④	跳ね上がり防止金具	1	
⑤	ブリー金具	1	
⑥	ブリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	枠側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナー-A	1	
⑩	ライナー-B	1	
⑪	ライナー-C	1	
⑫	ライナー-D	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべハネジ	6	跳ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 枠側ワイヤークリップ取付用(鋼製枠)
⑮	4.5×20 トラスタップネジ	2	枠側ワイヤークリップ取付用(木製枠)
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブリー金具取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ブリー金具AJ取付用
⑲	M5×12 皿タップネジ	3	ライナー-A×ライナー-B固定用
⑳	5×16 皿タップネジ	3	ガイドローラAJ取付用
㉑	ハンガー-A	1	
㉒	ハンガー-B	1	
㉓	8×50 コーチスクリュー	4	ドア2 (運動扉) 用
㉔	戸外れ防止金具A	1	
㉕	戸外れ防止金具B	1	
㉖	M5×8 皿タップネジ	2	ドア2 (運動扉) 用
㉗	戸当り金具	2	
㉘	5×16 皿ベッパップネジ	4	ドア2 (運動扉) 用

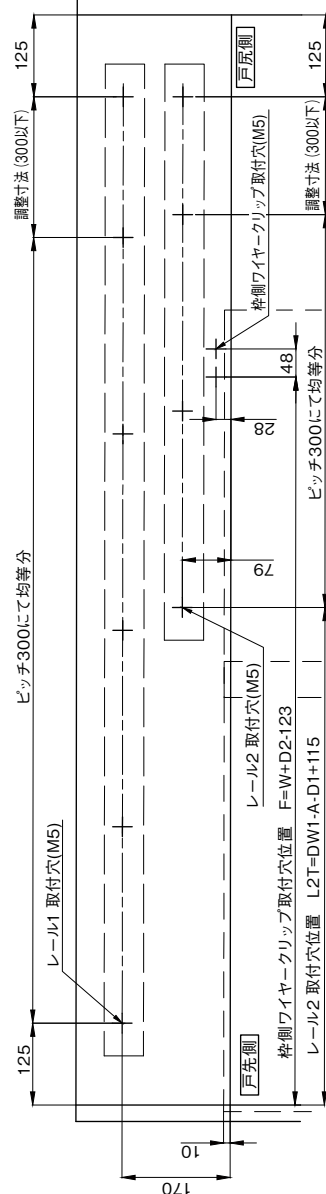
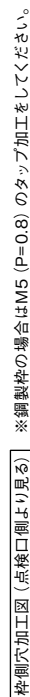
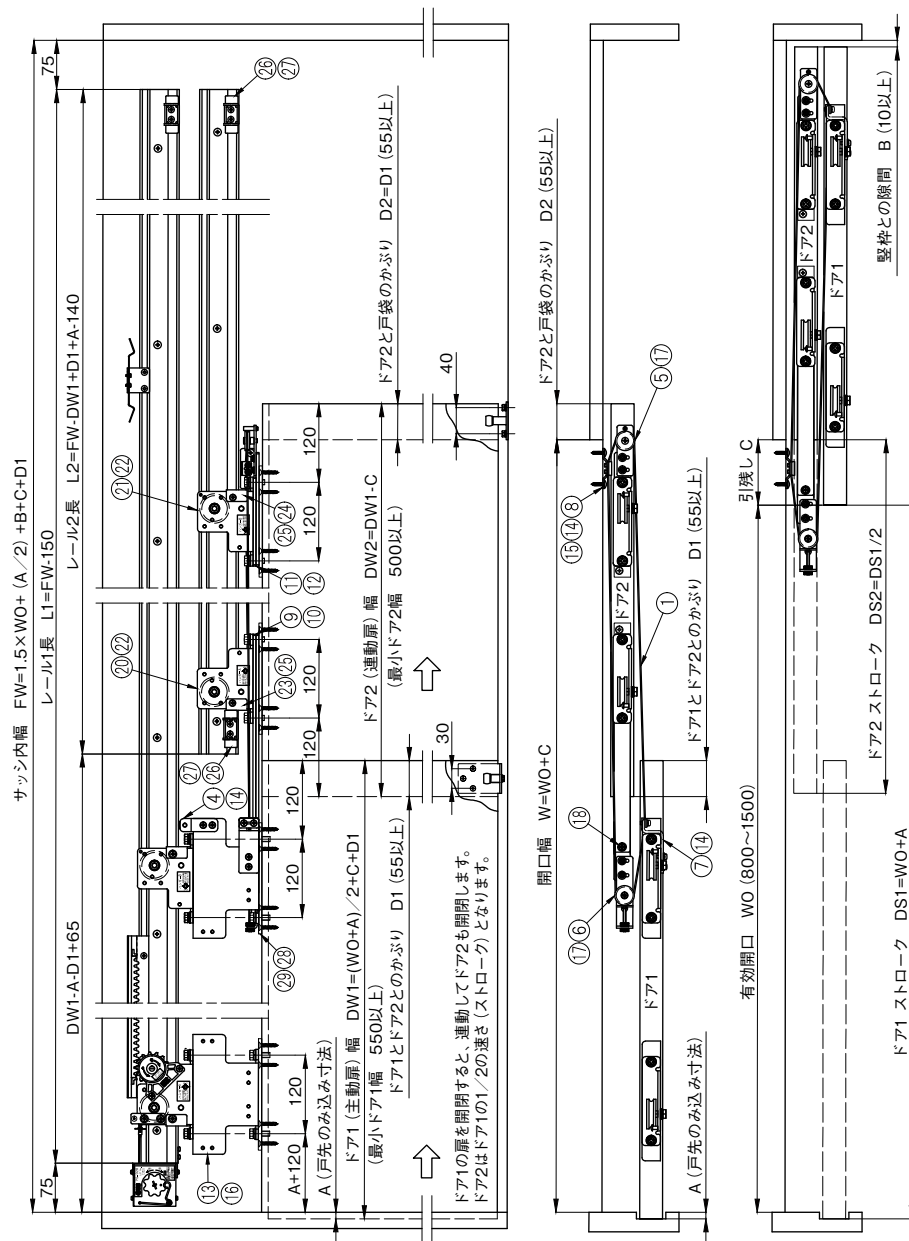
片引き2連引き戸納まり図

最小枠内寸法 DT+E+60以上



記事

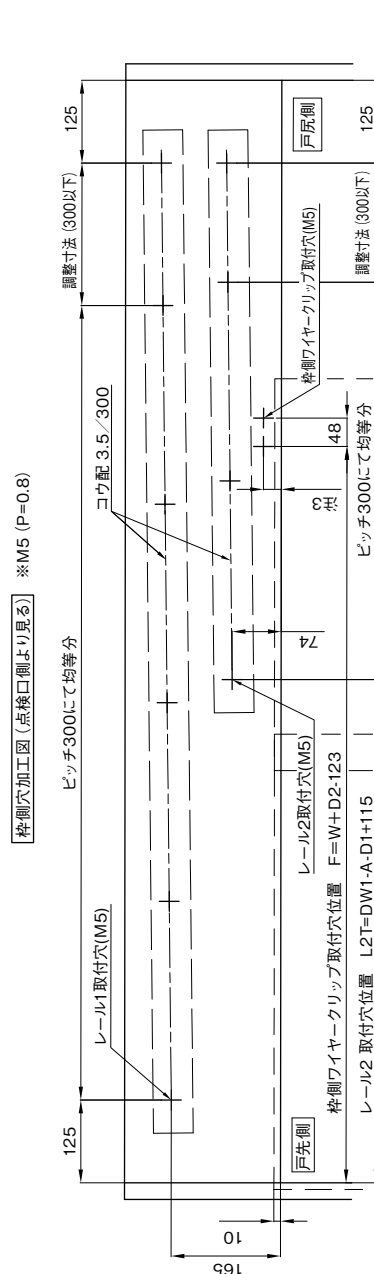
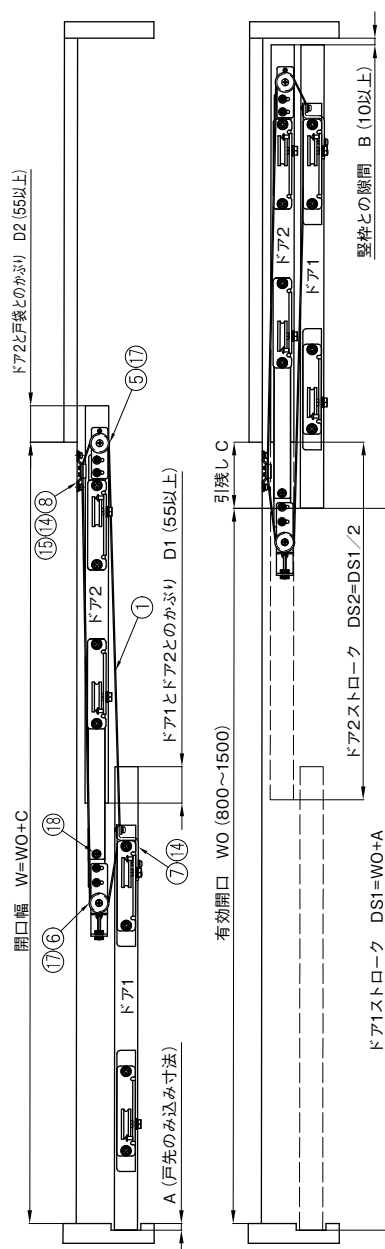
1. 本図は右開きを示します。左開きは本図に対し、左側の扉の開き勝手は下記とな点検口側より見て



項番	部品名称	数量	備 考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ D16	1	
③	ガイドローラ D16 AJ	1	
④	跳ね上がり防止金具	1	
⑤	ブリー金具	1	
⑥	ブリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	枠側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナーA	1	
⑩	ライナーB	1	
⑪	ライナーC	1	
⑫	ライナーD	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべ小ネジ	6	跳ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 枠側ワイヤークリップ取付用(鋼製枠)
⑮	4.5×20 トラスタピンネジ	2	枠側ワイヤークリップ取付用
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブリー金具取付用 ブリー金具AJ取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ライナーA×ライナーB固定用
⑲	M5×12 皿サッペンネジ	3	
20	5×16 皿タッピンネジ	3	
21	ハンガーA	1	
22	ハンガーB	1	ドア2 (運動扉) 用
23	8×50 コーチスクリュー	4	
24	戸外れ防止金具A	1	
25	戸外れ防止金具B	1	ドア2 (運動扉) 用
26	M5×8 なべ小ネジ	2	
27	M5×8 戸当り金具	2	ドア2 (運動扉) 用
28	5×16 なべタッピンネジ	4	
29	木製ドア用板	2	
30	5×30 皿タッピンネジ	8	ドア2 (運動扉) 用

片引き2連引き戸納まり図

最小棒内寸法 DT+E+60以上



記事

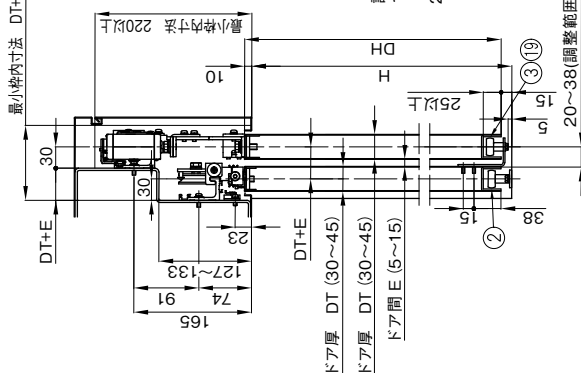
1. 本図は右開きを示します。
左開きは本図に下記、左右対称となります。
2. 扉の開き勝手は下記となります。
点検口側より見て
右側へ開く…右開き
左側へ開く…左開き

3. 校用ワイヤーラック取付位置は以下の
計算式にて寸法を算出してください。
 $23 \times 3.5 / (300 \times (D2-219))$

項番	部品名称	数量	備考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ	1	
③	ガイドローラ AJ	1	φ16.25.30.35の4種類
④	跳ね上がり防止金具	1	
⑤	ブーリー金具	1	
⑥	ブーリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	枠側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナー-A	1	
⑩	ライナー-B	1	
⑪	ライナー-C	1	
⑫	ライナー-D	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべ小ネジ	6	跳ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 枠側ワイヤークリップ取付用(鋼製枠)
⑮	4.5×20 トラスタップ	2	枠側ワイヤークリップ取付用(木製枠)
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブーリー金具取付用 ブーリー金具AJ取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ライナー-A×ライナー-B 固定用
⑲	M5×12 皿タップ小ネジ	3	ガイドローラAJ取付用
⑳	5×16 皿タップ小ネジ	3	
㉑	ハンガー-A	1	
㉒	ハンガー-B	1	ドア2 (運動扉) 用
㉓	M8×30 六角ボルト	4	
㉔	戸外れ防止金具A	1	
㉕	戸外れ防止金具B	1	ドア2 (運動扉) 用
㉖	M5×8 なべ小ネジ	2	
㉗	戸当り金具	2	ドア2 (運動扉) 用
㉘	5×16 ナベタップ小ネジ	4	

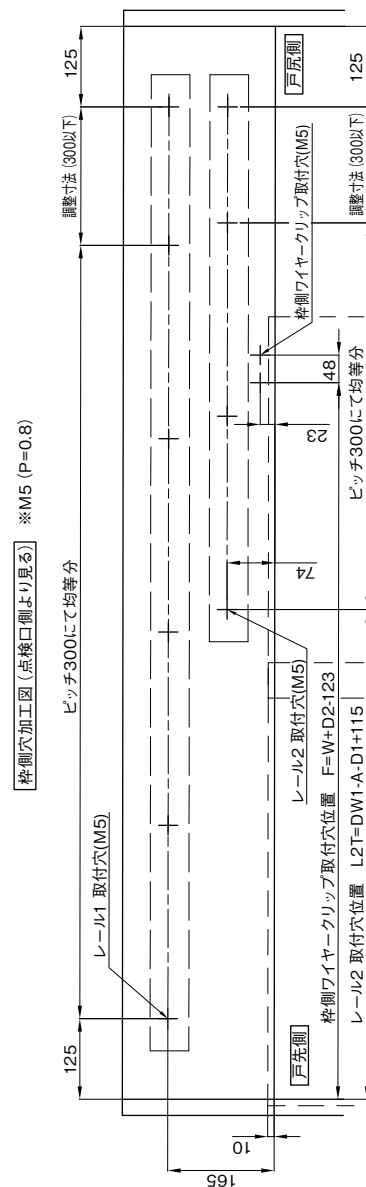
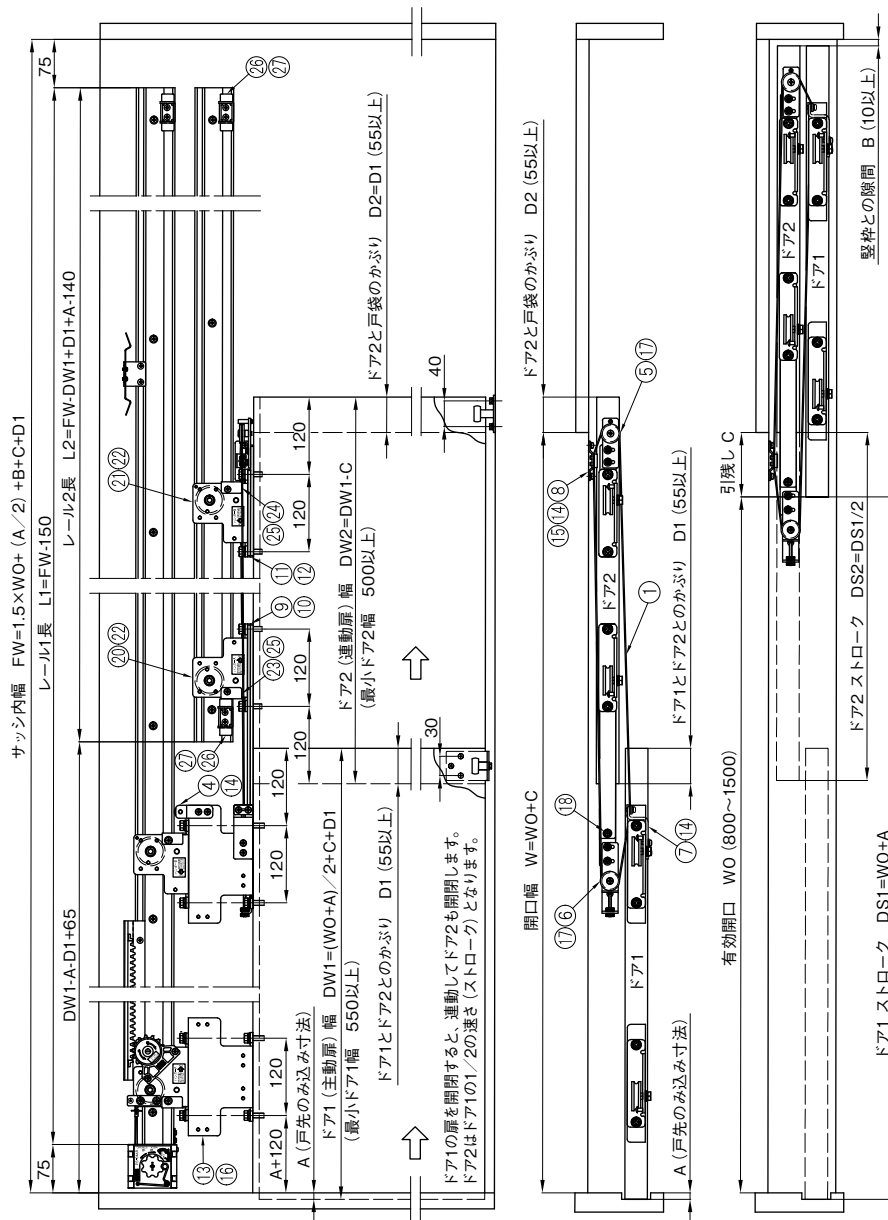
片引き2連引き戸納まり図

最小枠内寸法 DT+E+60以上



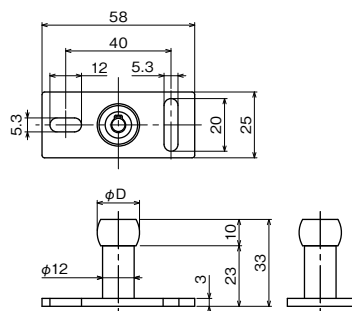
記事

1. 本図は右開きを示します。
左開きは本図に対し、左右対称となります。
2. 扉の開き勝手は下記となります。



項番	部品名称	数量	備考
①	ワイヤロープ	1	
②	ガイドローラ	1	
③	ガイドローラAJ	1	φ16,25,30,35の4種類
④	鉄ね上がり防止金具	1	
⑤	ブリー金具	1	
⑥	ブリー金具 AJ	1	
⑦	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑧	ドア側ワイヤークリップ	1	
⑨	ライナー-A	1	
⑩	ライナー-B	1	
⑪	ライナー-C	1	
⑫	ライナー-D	1	
⑬	ハンガーベース	2	
⑭	M5×12 なべ小ネジ	6	鉄ね上がり防止金具取付用 ドア側ワイヤークリップ取付用 枠側ワイヤークリップ取付用(銅製枠)
⑮	4.5×20 トラスタップネジ	2	枠側ワイヤークリップ取付用(木製枠)
⑯	M8×12 十字穴付六角ボルト	4	ハンガーベース取付用
⑰	M5×8 十字穴付六角ボルト	4	ブリー金具取付用
⑱	M6×12 十字穴付六角ボルト	1	ブリー金具AJ取付用
⑲	M5×12 皿サッピン小ネジ	3	ライナー-A×ライナー-B固定用
⑳	5×16 皿スタッピングネジ	3	ガイドローラAJ取付用
㉑	ハンガー-A	1	
㉒	ハンガー-B	1	ドア2 (運動扉)用
㉓	M8×30 六角ボルト	4	
㉔	戸外れ防止金具A	1	
㉕	戸外れ防止金具B	1	ドア2 (運動扉)用
㉖	M5×8 なべ小ネジ	2	
㉗	戸当り金具	2	
㉘	5×16 カベタツピンネジ	4	ドア2 (運動扉)用

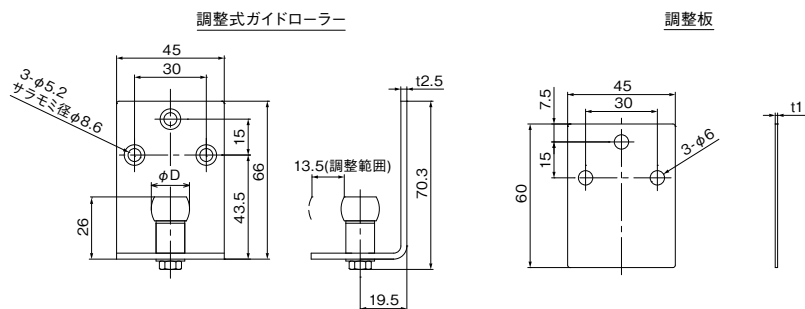
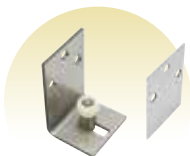
ガイドローラー



※ $\phi D=16, 25, 30, 35$ の4種類があります。

金具：ステンレス
プーリ：ポリアセタール

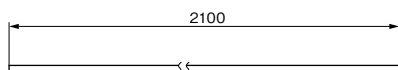
調整式ガイドローラー



※ $\phi D=16, 25, 30, 35$ の4種類があります。

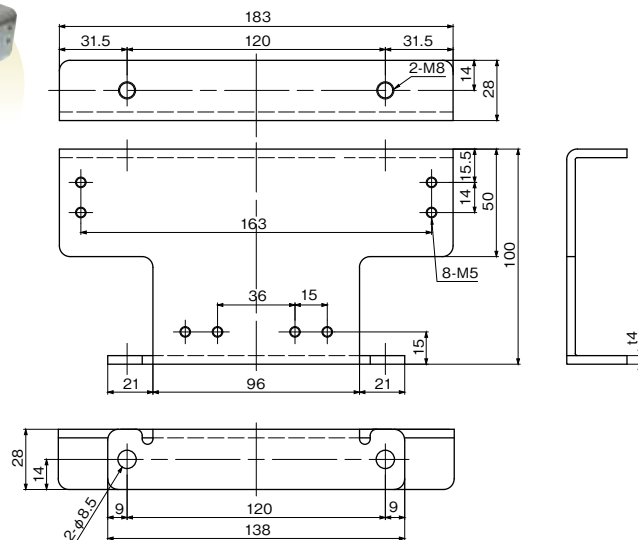
金具：ステンレス
プーリ：ポリアセタール

ワイヤロープ(一本)



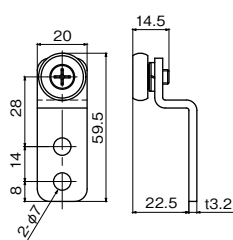
ワイヤー：ステンレス

ハンガーベース



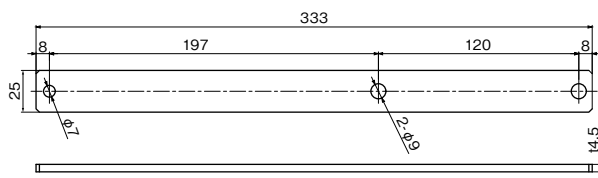
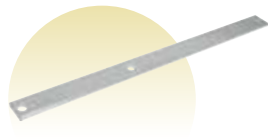
金具：スチール

跳ね上がり防止金具



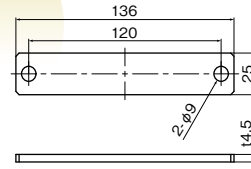
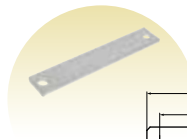
金具：スチール
プーリ：ポリアセタール

ライナーA



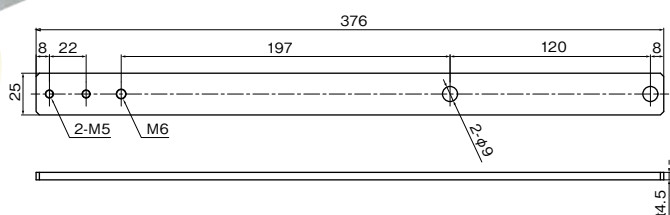
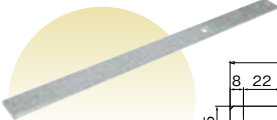
金具：スチール

ライナーC



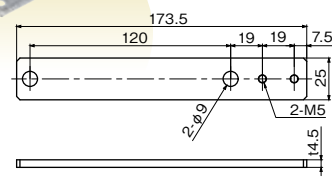
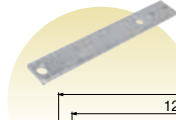
金具：スチール

ライナーB



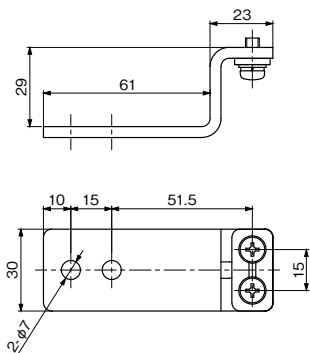
金具：スチール

ライナーD



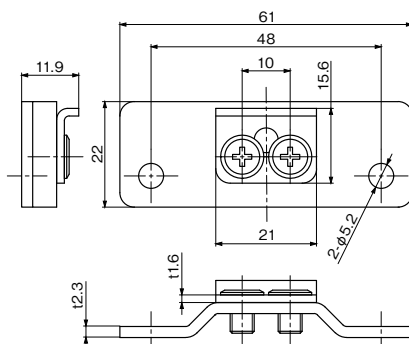
金具：スチール

ドア側ワイヤークリップ



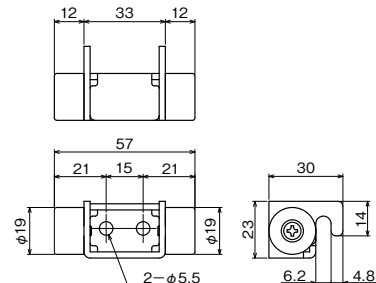
金具: スチール

枠側ワイヤークリップ



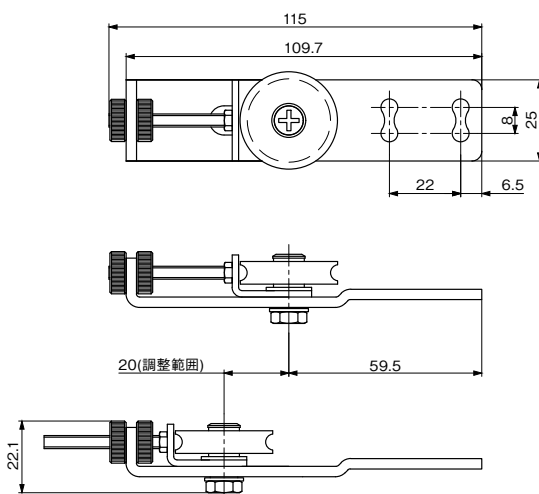
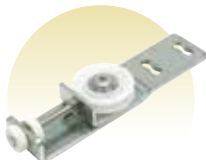
金具: スチール

戸当り



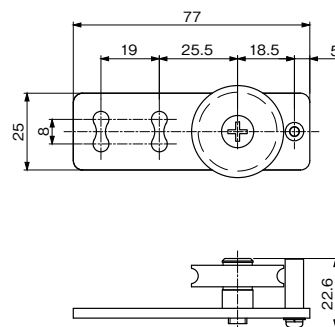
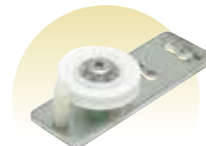
ブラケット: ステンレス
戸当りゴム: 合成ゴム

調整式プーリー金具



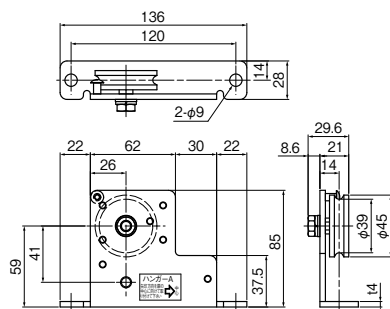
金具: スチール
プーリ: ポリアセタル

プーリー金具



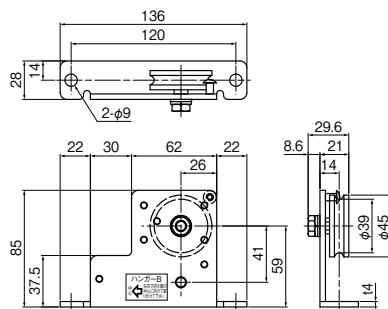
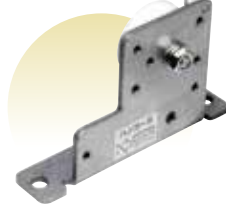
金具: スチール
プーリ: ポリアセタル

ハンガーA



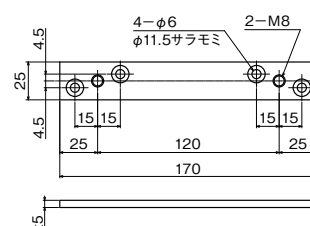
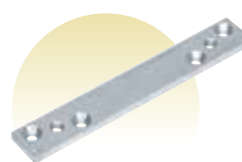
ブラケット: スチール
戸車: ポリアセタル

ハンガーB



ブラケット: スチール
戸車: ポリアセタル

木製ドア用板



木製ドア用板: スチール



片引き2連連動装置

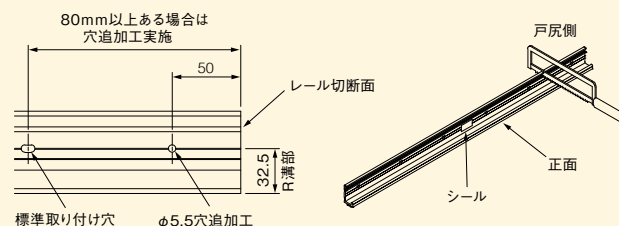
●本取り付け手順書は、SC-2SA型金具の取り扱いを示します。標準品の取付手順書と併せてお読みください。

1 レールの切断、取り付け穴の追加工

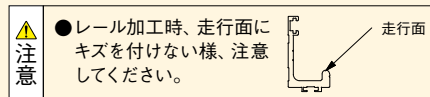
- ①下記の寸法でレールをカットします。
レールの戸尻側をカットしてください。

- レール1(ドア1用)・・・FW-150
- レール2(ドア2用)・・・FW-DW1+D1+A-140

FW : サッシ内幅
DW1 : ドア1幅
D1 : ドア1とドア2とのかぶり
A : 戸先のみ込み寸法



- ②切断面から、標準取り付け穴までの寸法が80mm以上ある場合は、端面から50mmの位置に、レール取り付け用の穴φ5.5を追加してください。



2 制動ラックセットの取り付け

- ①クローザ本体の取扱説明書を参照し、ドア1用レール(レール1)に制動ラックを取り付けてください。



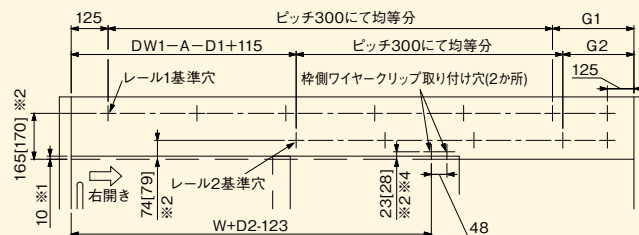
- 異音や制動不良の原因になりますので、ネジは確実に締め付けてください。
- 異音の原因になるため、ラック固定金具、制動ラック、消音ゴムは密着させ、ガタツキがないように固定してください。

3 レール取り付け穴、枠側ワイヤークリップ取り付け穴の設定 (図は水平式[NSCシリーズ]を示す)

- ①右図を参照し、レール取り付け穴と枠側ワイヤークリップ取り付け穴を設定します。
- 傾斜式 [DSCシリーズ] の場合は、300ピッチ毎に高低差3.5mm(こう配3.5/300)で設定します。
 - 鋼製枠の場合は、M5のタップを加工します。

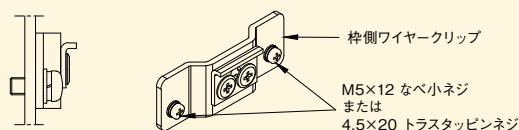
- ②右図のG1とG2寸法(レール取り付け穴300ピッチ最終穴位置から戸尻側サッシ内側までの寸法)が155mm以上ある場合は、サッシ内側から125mmの位置にレール取り付け穴を設定します。

※1 : 図はサッシ上枠と扉のかぶりが10mmの場合を示します。
※2 : 図の[]内の寸法は、木製ドア用板[CWシリーズ]使用時の場合を示します。
※3 : 傾斜式<DSCシリーズ>の場合は、レール取り付け穴を3.5/300のこう配で設定してください。レール基準穴位置は水平式の場合と同じです。右図を参照して設定してください。
※4 : 傾斜式<DSCシリーズ>の場合は23[28]+3.5/300×(DW2-219)



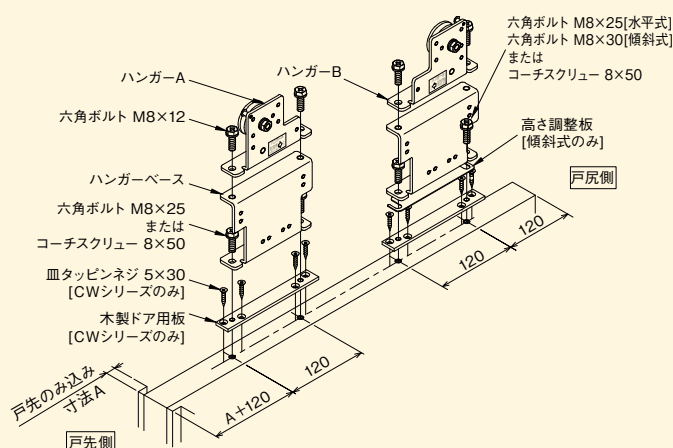
4 レール、枠側ワイヤークリップの取り付け

- ①レール1とレール2を付属のM5×16なべ小ネジ、または5×30トラスタップネジで取り付けます。
- ②枠側ワイヤークリップを右図の向きにして、付属のM5×12なべ小ネジ、または4.5×20トラスタップネジで取り付けます。



5 ドア1(主動扉)への金具の取り付け

- ①右図に従って、金具を取り付けます。
- 傾斜式 [DSCシリーズ] の場合は、戸尻側ハンガーベース下部に高さ調整板を挿入して取り付けます。高さ調整板の使用枚数は、扉幅によって異なります。下表を参照して取り付けてください。
 - 木製建具 [CWシリーズ] の場合は、木製ドア用板(右図参照)を使用して取り付けます。
 - 木製ドア用板を使用する場合は、扉のボルト位置にφ9深さ20mm以上の穴加工を行ってください。





6 ドア2 (連動扉) への金具の取り付け

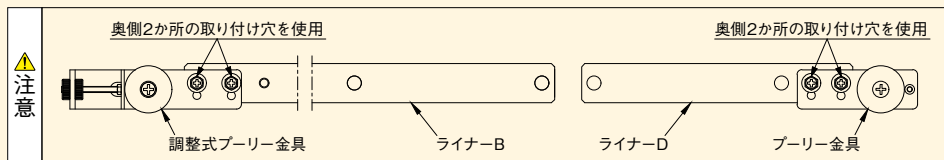
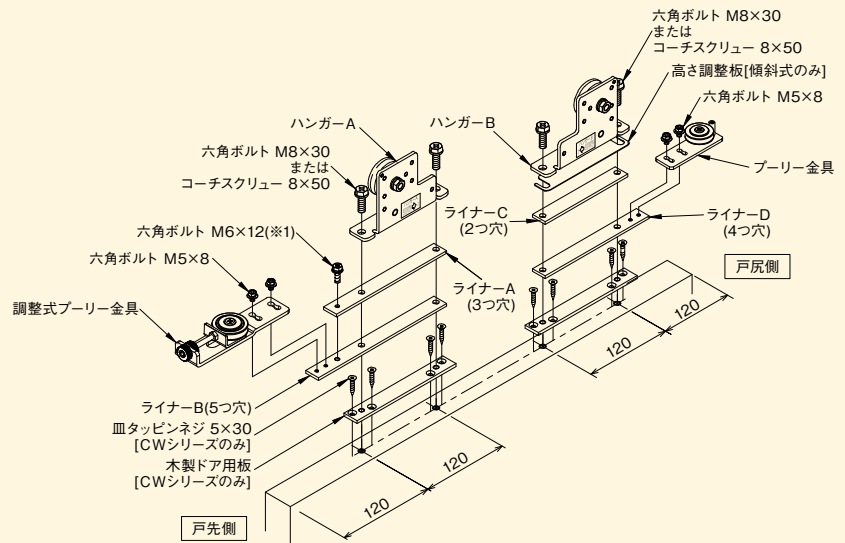
①右図に従い、金具を取り付けてください。

- 傾斜式 [DSCシリーズ] の場合は、戸尻側ハンガー下部に高さ調整板を挿入し取り付けてください。高さ調整板の使用枚数は扉幅により異なりますので、下表を参照し取り付けてください。
- 木製建具 [CWシリーズ] の場合は、木製ドア用板(右図参照)を使用し取り付けてください。
- 木製ドア用板を使用する場合は、扉のボルト位置にφ9、深さ20mm以上の穴加工を行ってください。

※1: 金具の変形防止の為、ネジは確実に取り付けてください。

傾斜式用高さ調整板の使用枚数(参考)

扉幅DW(mm)	使用枚数
500～600以下	4枚
600～700以下	5枚
700～800以下	6枚
800～900以下	7枚
900～1000以下	8枚



7 ガイドローラ (床付けタイプ) と調整式ガイドローラの取り付け

《ガイドローラ(床付けタイプ)の取り付け》

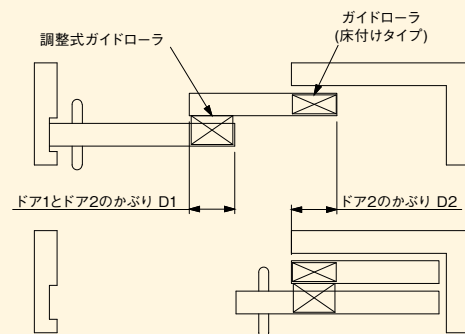
- ①ドア2のかぶり部中央に取り付けます。床面がコンクリートやモルタル等の場合は、付属のフィッシャープラグを使用して取り付けます。(下穴ドリル径φ6)

《調整式ガイドローラの取り付け》

- ①調整式ガイドローラの六角ボルトを緩め、扉厚に合わせて図の寸法になるようにローラ位置を調整します。

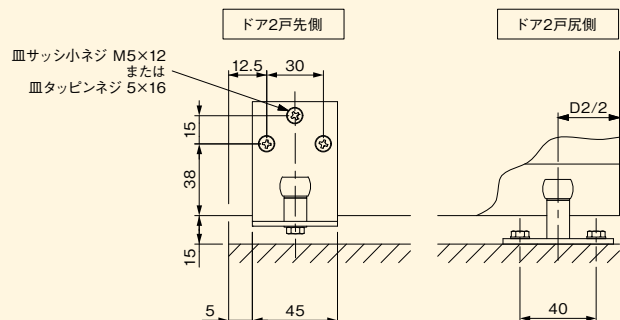
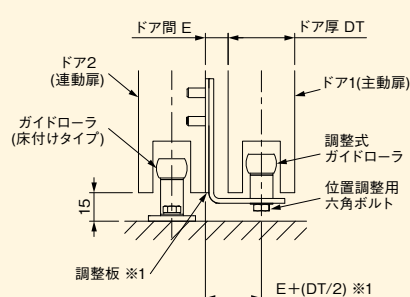
※1: 金具調整寸法: $E + (DT/2)$ が33mm以上の場合は調整板をご使用ください。

- ②ドア2の図の位置に、調整式ガイドローラを付属のM5×12皿小ネジで取り付けます。(木製建具の場合は、付属の5×16皿タッピンネジを使用してください)



※1: 調整式ガイドローラ
調整板使用枚数(参考)

金具調整寸法 $E + (DT/2)$	使用枚数
33以下	0枚
33～34以下	1枚
34～35以下	2枚
35～36以下	3枚
36～37以下	4枚
37～38以下	5枚



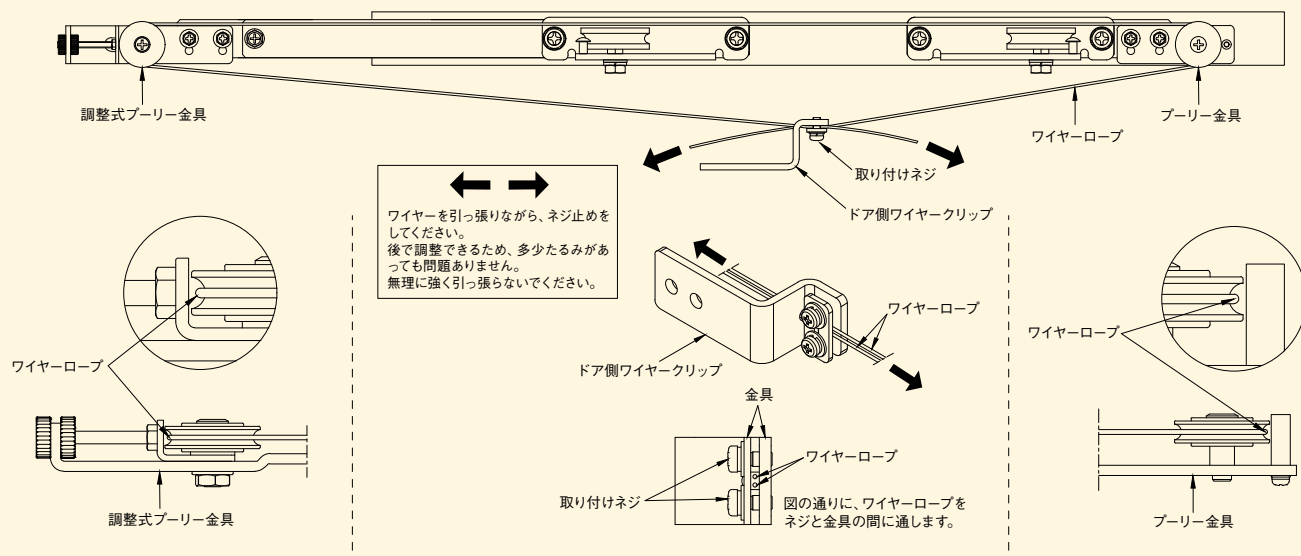


8 ワイヤロープの取り付け

- ①下図を参照し、ワイヤロープをドア2のプリー金具、調整式プリー金具とドア側ワイヤークリップに通します。ドア側ワイヤークリップのネジを締め付け、ワイヤロープを固定します。

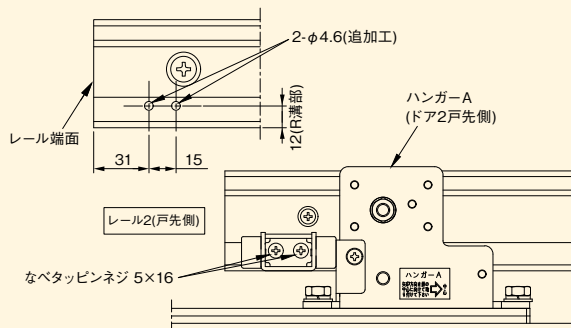


- ドア側ワイヤークリップを取り付ける向きに注意してください。
●ワイヤロープは、後で調整できるため、多少たるみがあっても問題ありません。無理に強く引っ張らないでください。



9 戸当たり (ドア2 戸先側) の取り付け

- ①下図の寸法に従って、レール2戸尻側に戸当たり金具取り付け用の穴 (φ4.6を2か所)を追加加工します。
②付属のネジ (なベタッピンネジ 5×16)にて取り付けてください。



10 扉の吊り込み

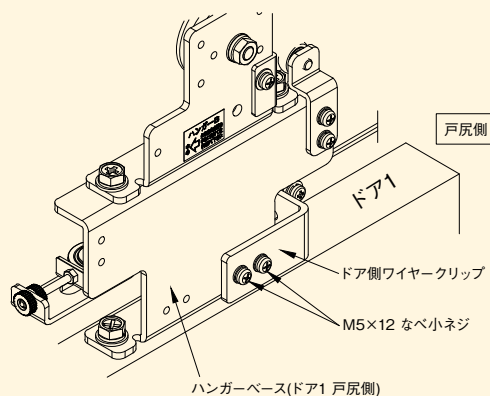
- ①扉の下部をガイドローラに合わせ、ドア2、ドア1の順に扉を吊り込みます。
②吊り込み後、戸外れ防止金具と跳ね上がり防止金具を取り付けます。
③それぞれの扉がスムーズに動くことを確認します。



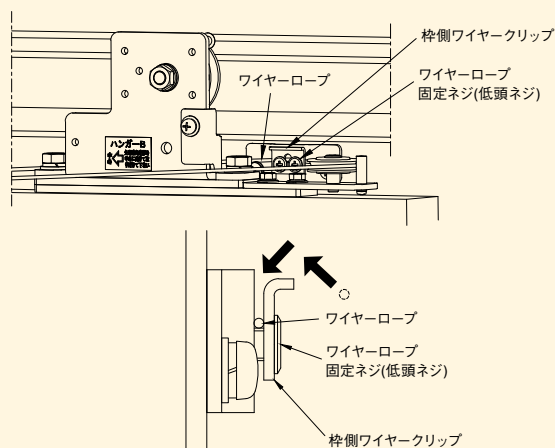
- 扉が外れる恐れがあるため、必ず戸外れ防止金具 (4か所)と跳ね上がり防止金具 (1か所)を設置してください。

11 ワイヤロープの設定

- ①下図を参照し、ドア側ワイヤークリップを付属のM5×12なべ小ネジで取り付けます。



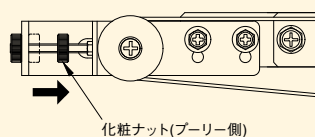
- ②-1: ワイヤロープ固定ネジ (低頭ネジ) を緩めます。
②-2: ドアを閉めた状態で下図を参照し、枠側ワイヤークリップにワイヤロープを引っかけます。





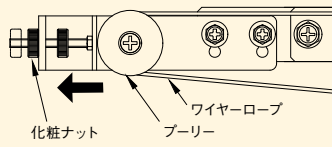
11 ワイヤロープの設定

- ③-1:化粧ナット(プーリー側)を緩め、移動します。



化粧ナット(プーリー側)

- ③-2:もう一方の化粧ナットを締め付けます。プーリーが矢印の方へ移動を開始し、ワイヤロープのたるみがなくなるまで調整します。

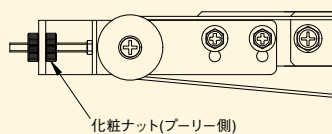


化粧ナット

ワイヤロープ

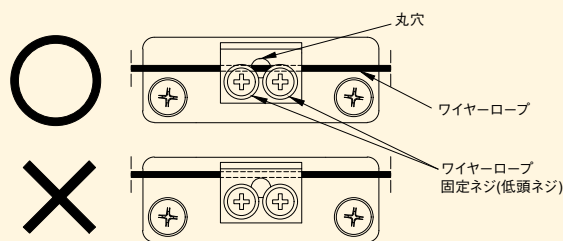
プーリー

- ③-3:ワイヤロープのたるみを調整後、化粧ナット(プーリー側)を締め付けてしっかりと固定します。



化粧ナット(プーリー側)

- ④最後に枠側ワイヤークリップのワイヤロープ固定ネジ(低頭ネジ)を締め付けてください。



注意

- ネジ締めの際は上図が示す通りワイヤロープが金具の丸穴から見えること。
- 必ずドアを完全に閉めた状態で行ってください。

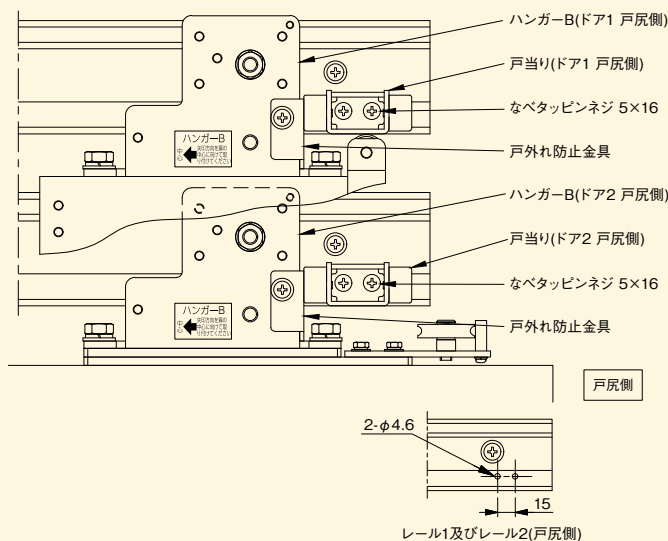


注意

- ワイヤロープは、たるみがない程度に緩めに張ります。強く張り過ぎると、無理な負荷がかかり故障の原因となります。
- ワイヤロープの設定は、必ずドアを完全に閉めた状態で行ってください。

12 戸当たり(戸尻側2個)取り付け

- ①ドア1とドア2を全開位置にして、保持します。
- ②戸当りをハンガー-B(ドア1とドア2戸尻側)の戸外れ防止金具に当てます。
- ③レールのネジ取り付け位置をマーキングします。
- ④③のマーキング位置に金具取り付け用の穴($\phi 4.6$ を2か所)を追加加工します。
- ⑤付属のなべタッピンネジ5×16で取り付けます。



注意

- 戸当たり(2個)は扉全開時、同時にそれぞれの戸外れ防止金具に当たるようにしてください。

13 制動装置、引き込みバネ、全開ストップ装置の取り付け

- ①クローザ本体の取り付け説明書を参照し、制動装置、引き込みバネ(NSCシリーズのみ)、全開ストップ装置を取り付けます。
- ②扉を開閉させ、制動装置と引き込みバネを調整し、閉じ時間の調整を行います。

以上で取り付け完了です

Door Closer

取扱い販売店

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

本社・研究所/建築機器事業部
〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4
Tel:03-3755-9953 (代表) Fax:03-3755-9955

西日本支社
〒537-0001 大阪府大阪市東成区深江北2-10-10
Tel:06-6975-8261 (代表) Fax:06-6975-2261

中日本支社
〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-173-2
Tel:052-726-9044 (代表) Fax:052-772-7744

支店:札幌/仙台/福岡



JQA-2025
JQA-EM4057
本社/研究所

ホームページ www.nitto-kohki.co.jp

△ご注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」または「カタログ」に記載の注意事項をよくお読みください。

このカタログの記載内容は2023年2月現在のものです。
改良のため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

23BX00-①